

# 2026年3月期 第3四半期決算補足説明資料

2026年2月



日本金錢機械株式会社

東証プライム市場 / 証券コード : 6418

## ■ 第3四半期 連結業績ハイライト

## ■ 第3四半期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

## ■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

## ■ 通期 連結業績予想

## ■ 株主還元

## ■ 中期経営計画

## ■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics – 各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

## ■ 第3四半期 連結業績ハイライト

## ■ 第3四半期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

## ■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

## ■ 通期 連結業績予想

## ■ 株主還元

## ■ 中期経営計画

## ■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics – 各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

## ■ 売上高

北米地域のグローバルゲーミング市場向け主力製品の販売が、引き続き高水準で推移した一方、国内市場では新紙幣改刷特需の反動に伴う販売減少により、全体の売上高は減少

## ■ 営業利益

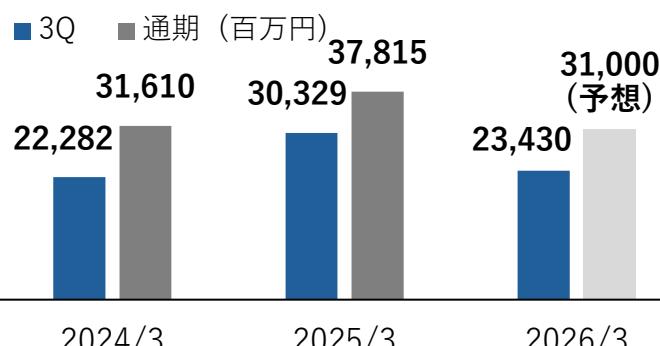
売上高の減少に加え、収益性の高い製品の販売減少により、営業利益も減少

## ■ 特別利益

第2四半期に不動産を売却したことにより、固定資産売却益（約32億円）を計上

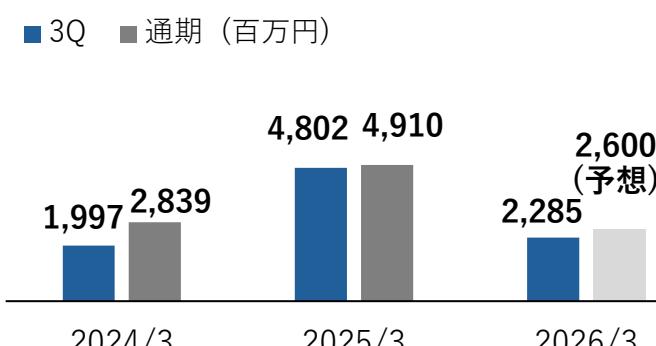
### 売上高

**23,430** 百万円      前年同期比  
**22.7%減**



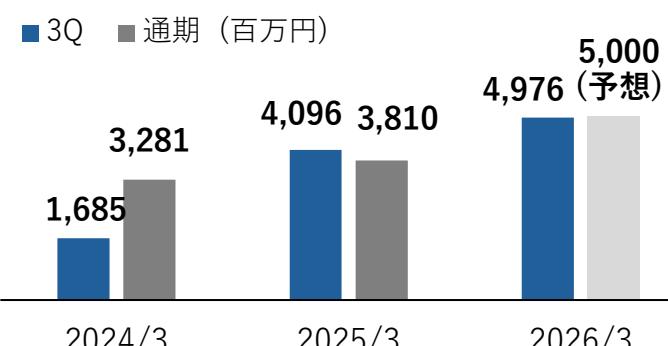
### 営業利益

**2,285** 百万円      前年同期比  
**52.4%減**



### 四半期純利益

**4,976** 百万円      前年同期比  
**21.5%増**



## ■ 第3四半期 連結業績ハイライト

## ■ 第3四半期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

## ■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

## ■ 通期 連結業績予想

## ■ 株主還元

## ■ 中期経営計画

## ■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics – 各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

# 第3四半期 連結業績概要



単位：百万円	2025/3 3Q		2026/3 3Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	30,329	100.0%	23,430	100.0%	△ 6,899	△22.7%
営業利益	4,802	15.8%	2,285	9.8%	△ 2,516	△52.4%
経常利益	4,936	16.3%	3,111	13.3%	△ 1,824	△37.0%
四半期純利益	4,096	13.5%	4,976	21.2%	+880	+21.5%
1株あたり四半期純利益	151.36円		183.69円		+32.33円	

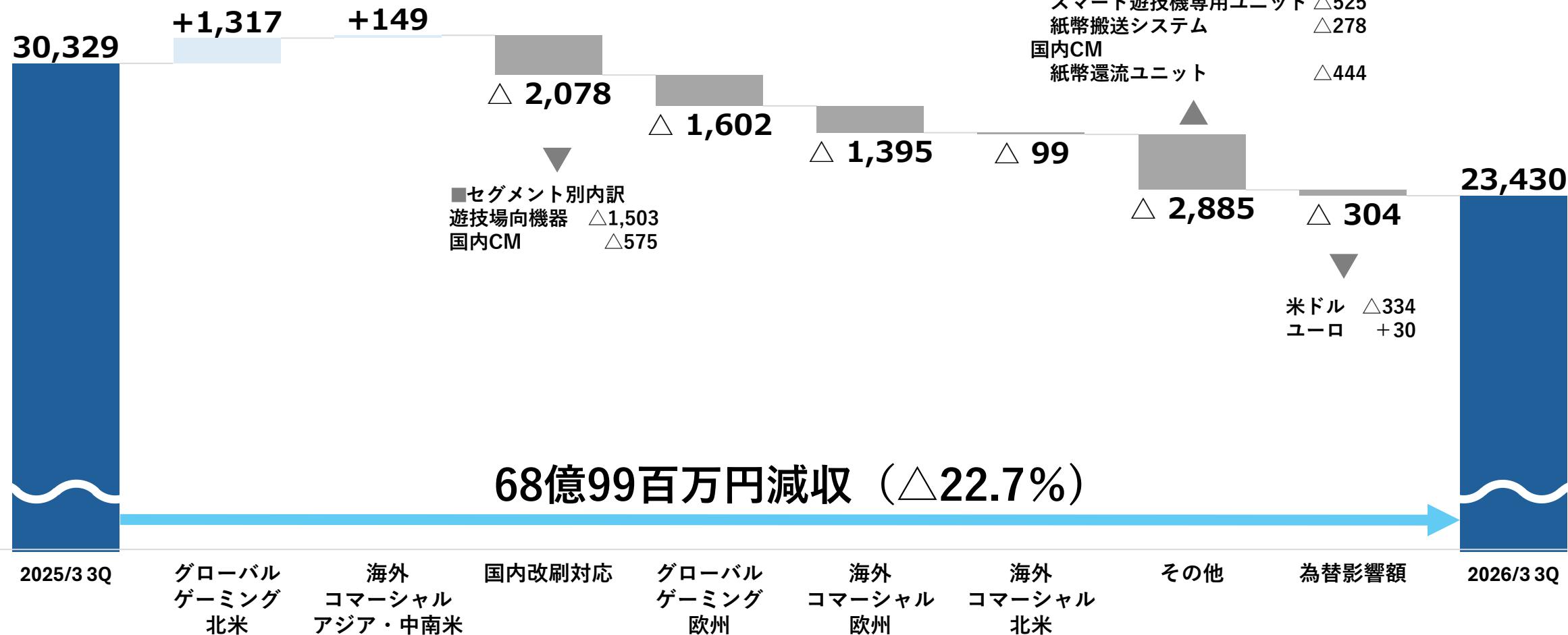
平均為替レート	米ドル	151.63円	147.80円	△3.83円
	ユーロ	164.70円	165.63円	+0.93円

# 第3四半期期連結業績概要-売上高増減要因

単位：百万円

## ■主な増減要因

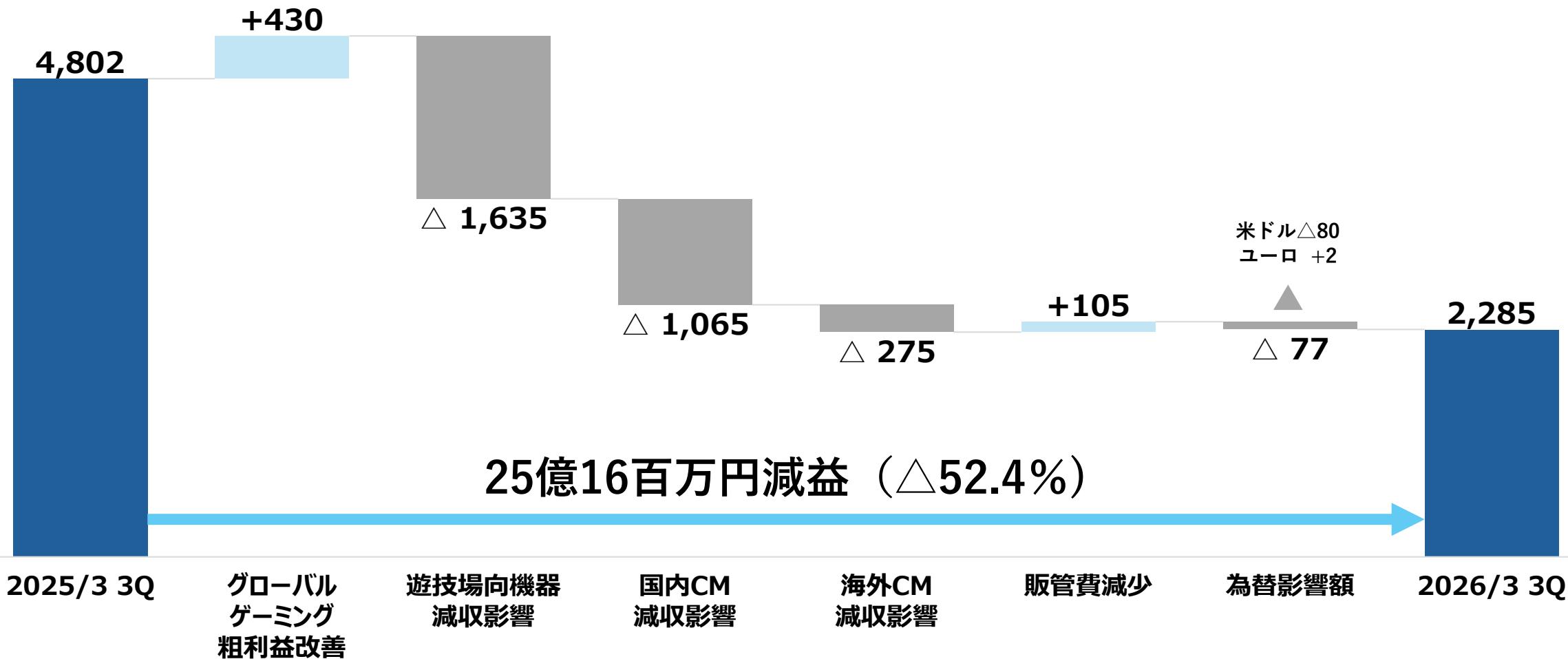
- 北米地域のグローバルゲーミングの売上が増加した一方で、  
国内改刷特需の反動減、欧州地域の販売減少が大きく影響し、売上高は減少



単位：百万円

## 主な増減要因

- ・遊技場向機器、国内コマーシャルの両セグメントにおける売上高の減少による影響が大きく、営業利益は減少



## ■ 第3四半期 連結業績ハイライト

## ■ 第3四半期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

## ■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

## ■ 通期 連結業績予想

## ■ 株主還元

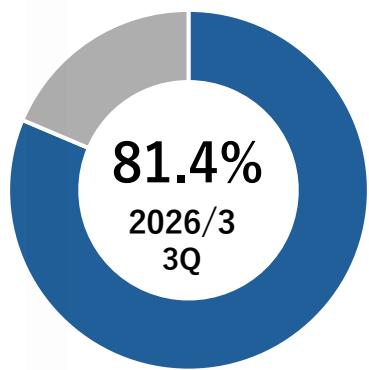
## ■ 中期経営計画

## ■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics – 各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

# セグメント別概要

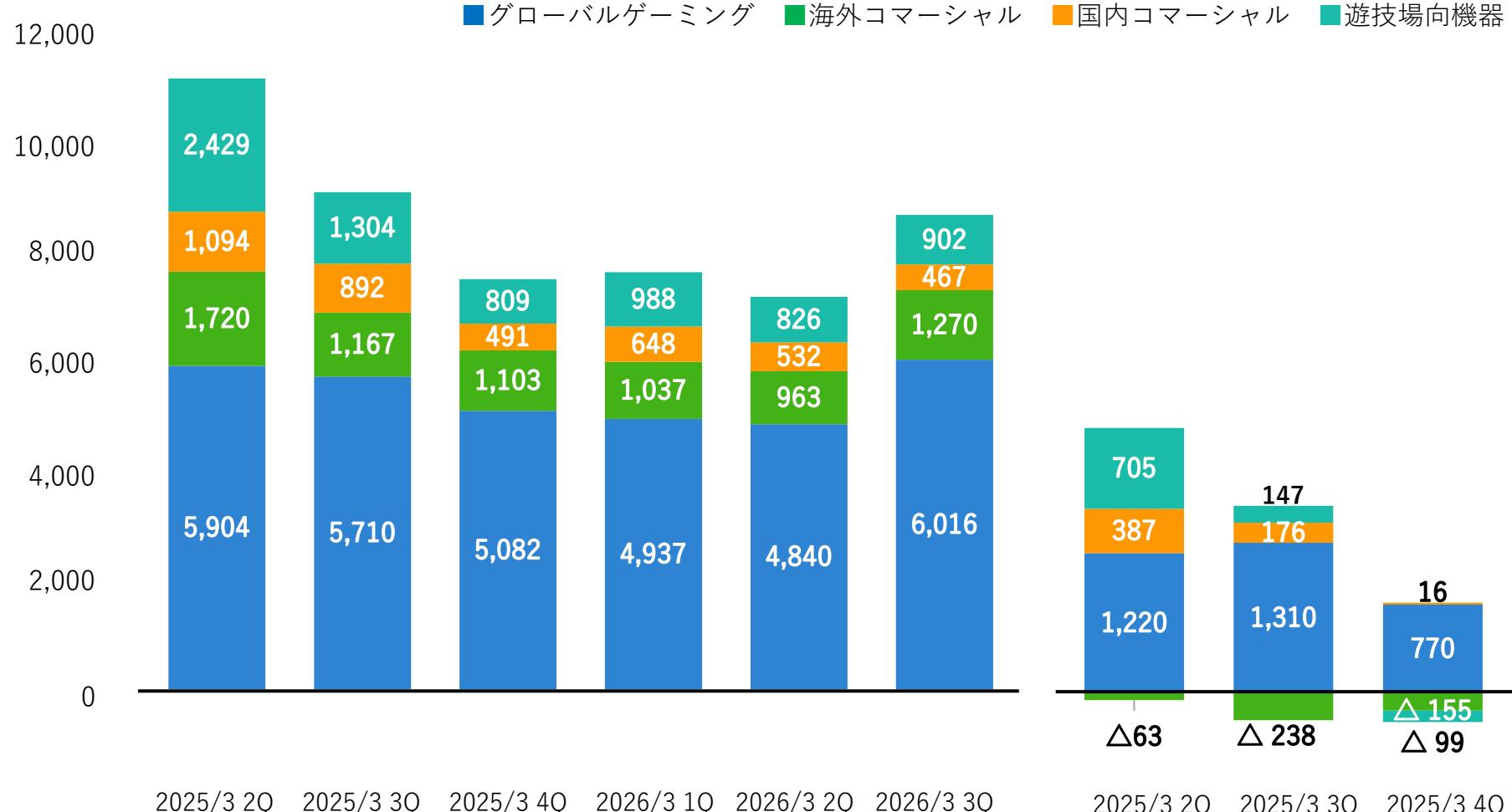
単位：百万円	海外売上高比率					
	2025/3 2Q	2025/3 3Q	2025/3 4Q	2026/3 1Q	2026/3 2Q	2026/3 3Q
売上高	11,149	9,076	7,485	7,612	7,161	8,656
グローバルゲーミング	5,904	5,710	5,082	4,937	4,840	6,016
海外コマーシャル	1,720	1,167	1,103	1,037	963	1,270
国内コマーシャル	1,094	892	491	648	532	467
遊技場向機器	2,429	1,304	809	988	826	902
セグメント利益	1,837	1,047	107	441	379	1,464
グローバルゲーミング	1,220	1,310	770	1,060	1,154	1,644
海外コマーシャル	△ 63	△ 238	△ 155	△ 335	△ 226	124
国内コマーシャル	387	176	16	65	22	△ 83
遊技場向機器	705	147	△ 99	△ 27	△ 131	132
調整額 (各セグメントに配分 していない全社費用)	△ 412	△ 348	△ 424	△ 321	△ 438	△ 353



(2025/3 3Q 69.2%)

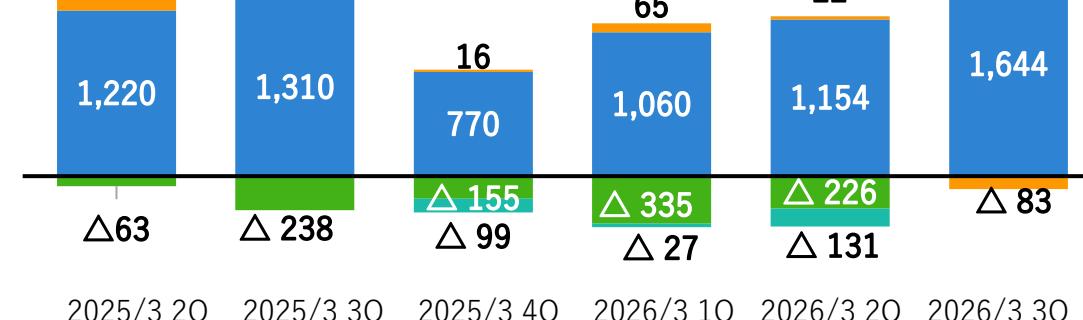
## セグメント別売上高

単位：百万円



## セグメント利益

※調整額を除く



# セグメント別概要 - グローバルゲーミング



## 事業概要

主な市場は北米カジノホテルのゲーミングエリア、欧州のストリートのゲーム場  
ゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニットや  
プリンターユニット、カジノホテルの省力化や  
自動化のためのシステム製品等を販売

## 主な納入先

スロットマシンメーカー、カジノホテル

## 業績概況

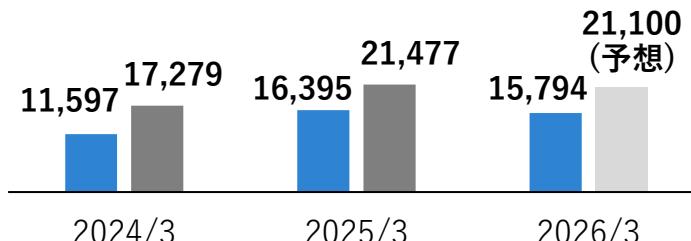
北米地域向け販売が高水準で推移した一方で、  
欧州地域向けの販売は減少  
北米地域における収益性の高い製品の  
販売増加により、収益性が向上

## 売上高

15,794 百万円

前年同期比  
3.7 %減

■ 3Q ■ 通期 (百万円)

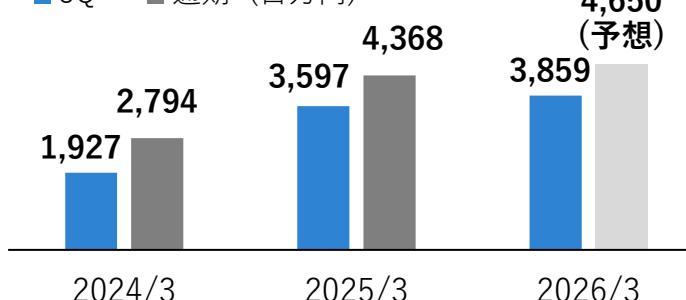


## セグメント利益

3,859 百万円

前年同期比  
7.3 %減

■ 3Q ■ 通期 (百万円)



## 主な製品



プリンターユニット



カジノホテル現金回収業務  
自動化システム

紙幣識別機ユニット



テーブルゲームシステム  
(紙幣還流ユニット・プリンターユニット搭載)



## 事業概要

流通・交通・金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

## 主な納入先

完成品メーカー（セルフレジ、キオスク端末等）

## 業績概況

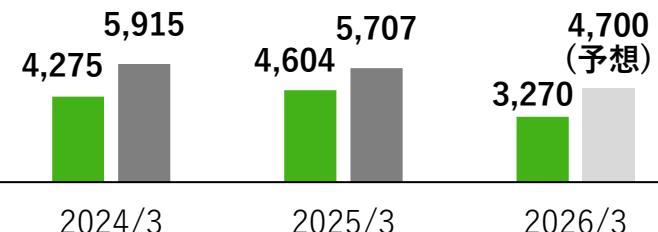
欧州地域向けの紙幣還流ユニットの販売が減少  
アジア・中南米地域の新規市場開拓は徐々に実りつつあるものの、依然として売上貢献は限定的

## 売上高

**3,270** 百万円

前年同期比  
**29.0 %減**

■ 3Q ■ 通期 (百万円)



## セグメント利益

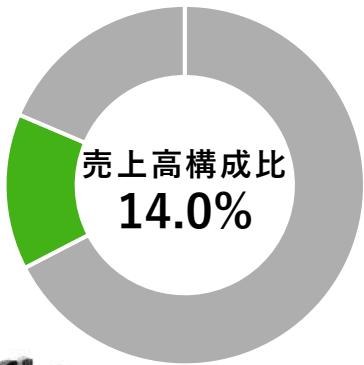
**△437** 百万円

前年同期比  
—

■ 3Q ■ 通期 (百万円)



## 主な製品



紙幣還流ユニット



自動釣銭機



紙幣識別機ユニット



## ■事業概要

流通、交通、金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

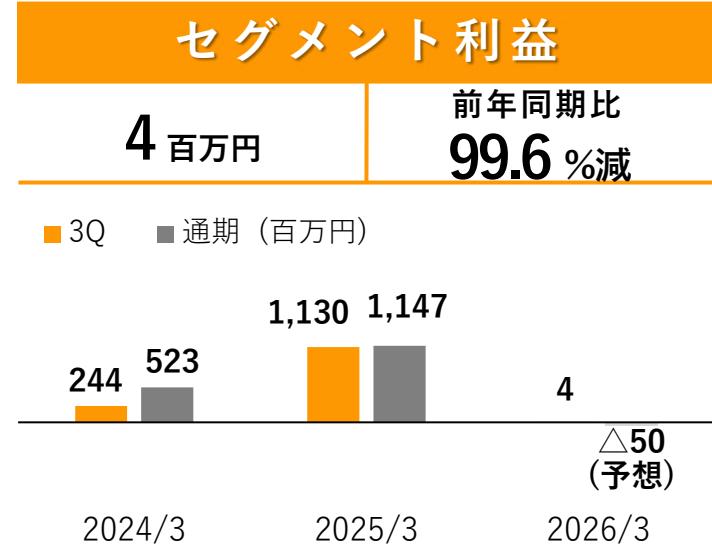
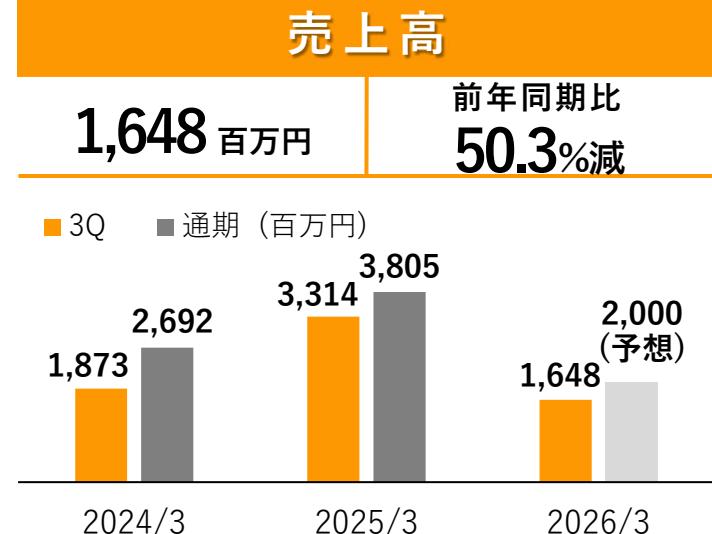
## ■主な納入先

完成品メーカー

(飲食店セルフ精算機、コインパーキング、セルフガソリンスタンド、バス等)

## ■業績概況

新紙幣発行に伴う更新特需の反動により、当社製品の販売は減少



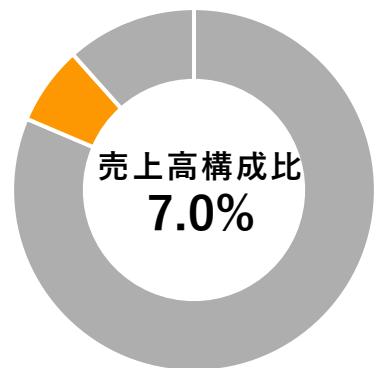
## 主な製品



紙幣還流ユニット



硬貨還流ユニット



キャッシュレス対応  
自動精算機

# セグメント別概要 - 遊技場向機器



## 事業概要

パチンコホール向けに、スマート遊技機専用ユニット、玉・メダル貸機、メダル自動補給システム等の周辺設備機器を販売

## 主な納入先

パチンコホール

## 業績概況

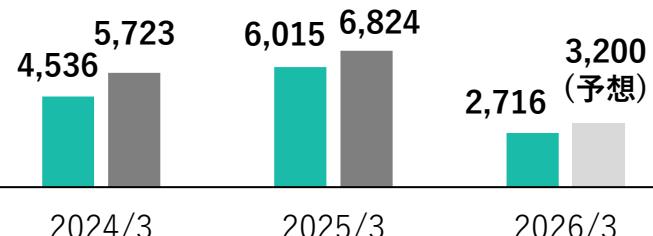
新紙幣発行に伴う更新特需の反動により、顧客における設備投資意欲の抑制傾向が継続し、スマート遊技機専用ユニットを含む主力製品の販売が減少

## 売上高

**2,716** 百万円

前年同期比  
**54.8 %減**

■ 3Q ■ 通期 (百万円)

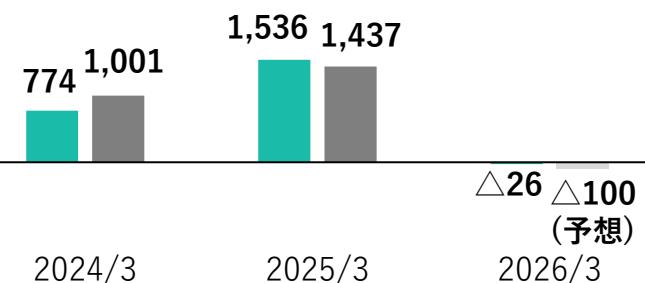


## セグメント利益

**△26** 百万円

前年同期比  
—

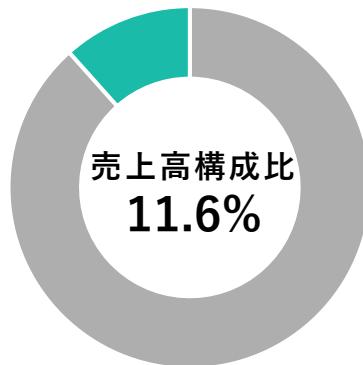
■ 3Q ■ 通期 (百万円)



## 主な製品



景品管理POS



紙幣搬送システム



景品払出機



スマート遊技機  
専用ユニット

## ■ 第3四半期 連結業績ハイライト

## ■ 第3四半期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

## ■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

## ■ 通期 連結業績予想

## ■ 株主還元

## ■ 中期経営計画

## ■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics – 各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

## ■ 通期業績予想

通期売上高は、概ね期初予想どおりに推移する一方で、収益性の高い製品の販売増加や為替変動の影響により、  
営業利益以降の各段階利益は期初予想を上回る見込み

2026年2月6日公表

売上高 <b>31,000</b> 百万円	営業利益 <b>2,600</b> 百万円	経常利益 <b>3,500</b> 百万円	親会社株主に帰属する当期純利益 <b>5,000</b> 百万円
--------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------------------

## ■ セグメント別の見通し

### グローバルゲーミング

北米：良好な市場環境による販売増加

欧洲：景気動向の影響による販売減少

### 海外コマーシャル

欧洲：顧客の在庫調整の影響による販売減少 北中南米：新規市場の立ち上がりに遅れ

アジア：交通市場向けの販売増加

### 国内コマーシャル

改刷特需の反動は下げ止まりの傾向がみられるものの、需要環境が従来水準までは回復していないことによる販売減少

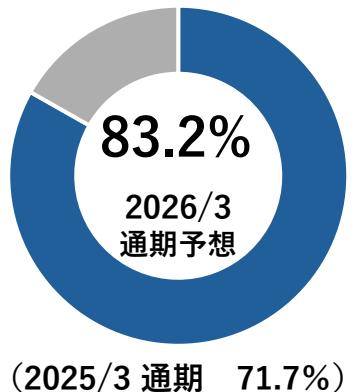
### 遊技場向機器

改刷特需の反動の影響に加え、スマート遊技機（特にスマートパチンコ）の普及が伸び悩んでいることによる、スマート遊技機専用ユニットの販売減少

# 通期連結業績予想 - セグメント別業績予想

単位：百万円	2025/3			2026/3			前期比 増減額
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期予想	通期予想	
売上高	21,253	16,562	37,815	14,774	16,225	31,000	△ 6,815
グローバルゲーミング	10,684	10,792	21,477	9,778	11,321	21,100	△ 377
海外コマーシャル	3,436	2,270	5,707	2,000	2,699	4,700	△ 1,007
国内コマーシャル	2,422	1,383	3,805	1,180	819	2,000	△ 1,805
遊技場向機器	4,710	2,114	6,824	1,814	1,385	3,200	△ 3,624
営業利益	3,755	1,155	4,910	820	1,779	2,600	△ 2,310
グローバルゲーミング	2,287	2,080	4,368	2,214	2,435	4,650	+281
海外コマーシャル	△ 172	△ 394	△ 566	△ 561	61	△ 500	+66
国内コマーシャル	954	193	1,147	87	△ 137	△ 50	△ 1,197
遊技場向機器	1,388	48	1,437	△ 158	58	△ 100	△ 1,537
調整額 <small>(各セグメントに配分していない全社費用)</small>	△ 702	△ 772	△ 1,475	△ 760	△ 639	△ 1,400	+75

海外売上高比率



## ■ 第3四半期 連結業績ハイライト

## ■ 第3四半期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

## ■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

## ■ 通期 連結業績予想

## ■ 株主還元

## ■ 中期経営計画

## ■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics – 各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

## ■ 2026年3月期の期末配当予想

期末配当 1株当たり20円

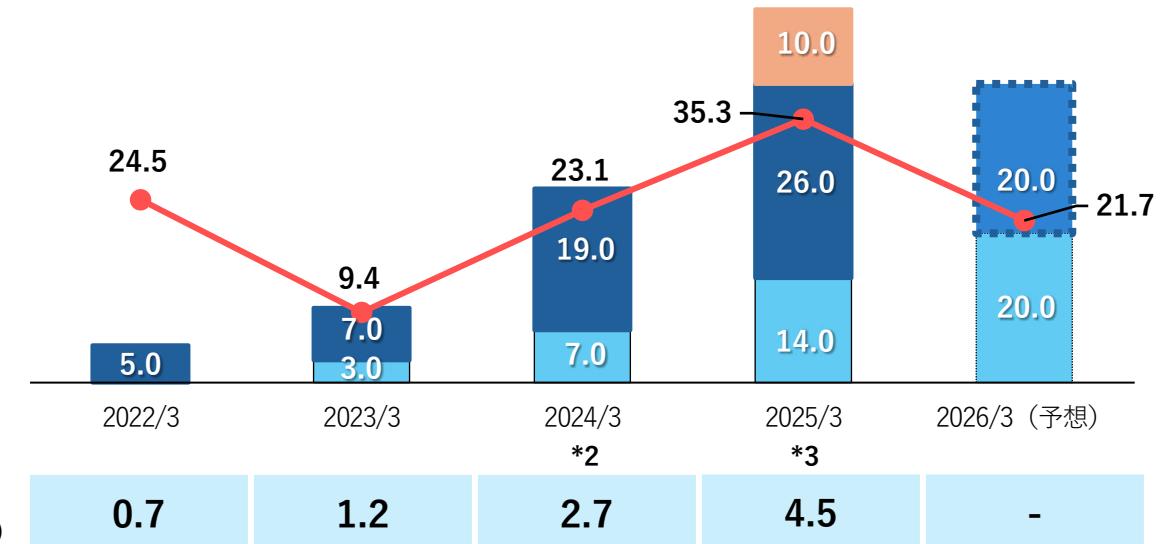
年間配当 1株当たり40円（中間普通配当 1株当たり20円、期末普通配当 1株当たり20円（予定））

### 配当方針

■ 中間配当（円） ■ 期末配当（円） ■ 記念配当（円） ■ 配当性向（%）

### 業績連動型株主還元を継続

- 配当性向（連結）30%以上 \*1
- 純資産配当率（連結）2.0%以上



\*1 ごく短期的な利益変動要因による影響を除いて決定することがあります。

\*2 2024年2月に自己株式の取得（19億円）を実施。

\*3 2024年5月に自己株式の取得（15億円）を実施。

## ■ 第3四半期 連結業績ハイライト

## ■ 第3四半期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

## ■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

## ■ 通期 連結業績予想

## ■ 株主還元

## ■ 中期経営計画

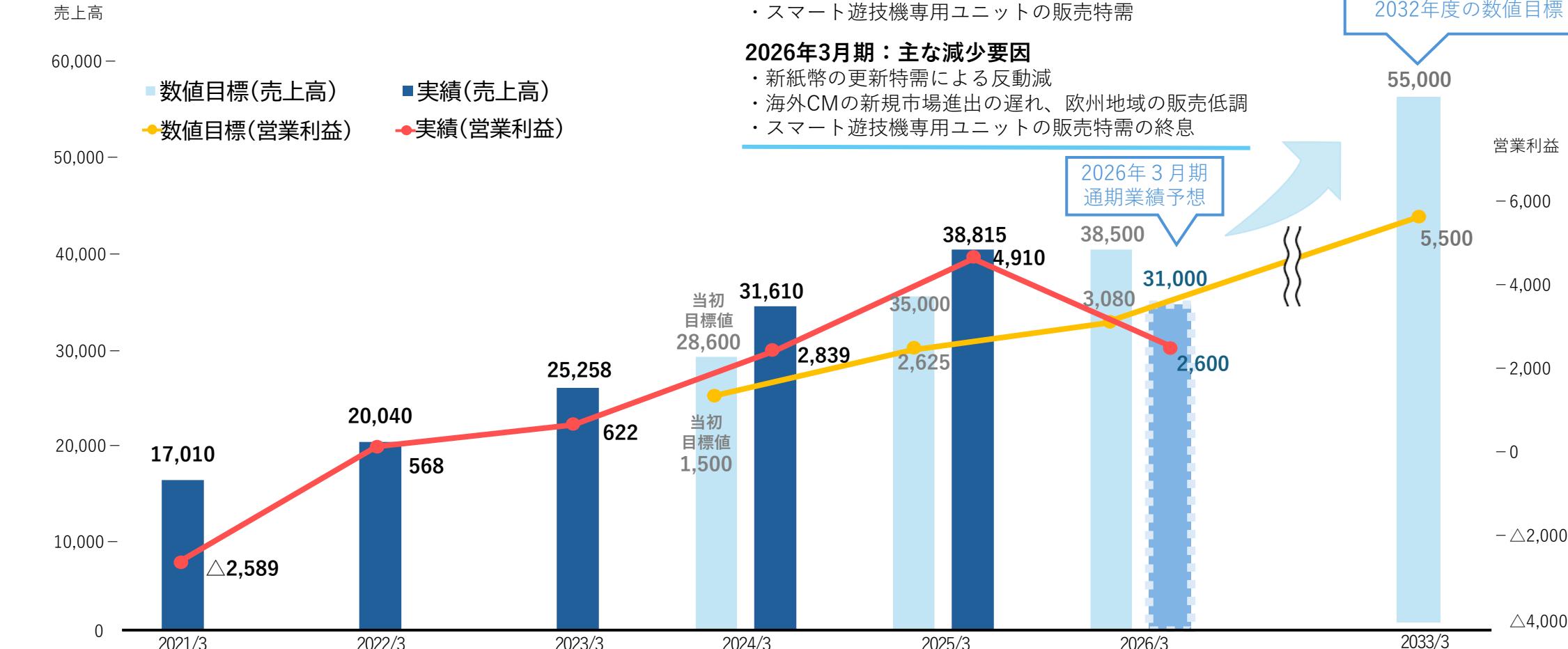
## ■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics – 各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

## ■中期経営計画「JCM Global Vision 2032」（2023年～2025年度）

現在、中期経営計画の見直しを進行中 改定後の計画策定が完了次第、速やかに公表予定

単位：百万円



## ■ 第3四半期 連結業績ハイライト

## ■ 第3四半期 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

## ■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

## ■ 通期 連結業績予想

## ■ 株主還元

## ■ 中期経営計画

## ■ 参考資料

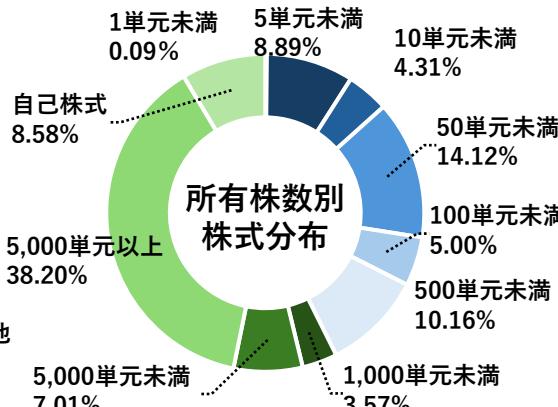
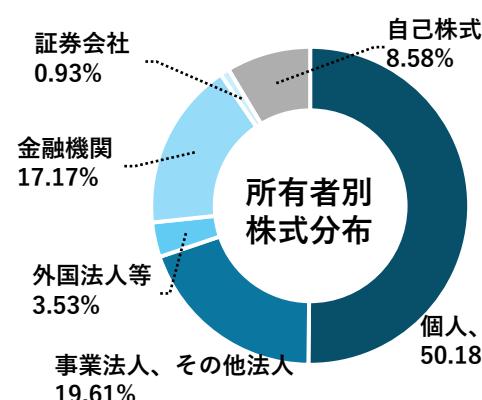
- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics – 各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

商号	日本金銭機械株式会社 Japan Cash Machine Co.,Ltd.
設立	1955年1月11日
代表者	代表取締役社長 上東 洋次郎
本社所在地	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号

上場区分	東証プライム市場
社員数	570名（2025年3月31日現在）
資本金	22億2,031万円（2025年3月31日現在）
事業所	本社（大阪市浪速区）、東京本社（東京都港区）、長浜工場（滋賀県長浜市）
海外拠点	アメリカ（ラスベガス、ダラス）、ブラジル、ドイツ、イギリス、タイ、フィリピン

## 株式の状況（2025年9月30日現在）

発行可能株式総数	118,000,000株	1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	29,672,651株	株主数	24,622名



株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,996	11.05
上東 洋次郎	1,466	5.41
上東 好子	638	2.35
株式会社りそな銀行	563	2.08
日本金銭機械従業員持株会	504	1.86
株式会社三井住友銀行	503	1.86
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	442	1.63
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.59
日本生命保険相互会社	403	1.49

(注) 1. 当社は、自己株式を2,545,490株保有（2025年9月30日現在）しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

## Our History

1955年に創業して以来、当社は貨幣処理機器メーカーという専門性の高い分野を担うメーカーとして、「人と人」、「人と貨幣」を円滑につないできました。これまで世界市場を舞台に貨幣流通のスペシャリストとして培った技術を基に、それぞれの市場に求められる新たな価値を提供できる、インターナショナル企業として人々の期待と信頼に応え続けていきます。



## 株価の推移



## PBR

0.79倍 (2025/12末)

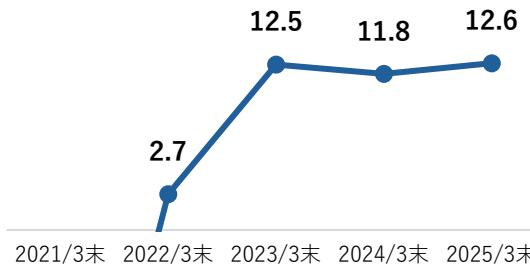
持続的な維持・向上に  
向けた基準値  
1.0倍以上



## ROE

12.6% (2025/3末)

中期経営計画目標値  
8%以上



## ■ 資産、負債及び純資産：+ 8億54百万円

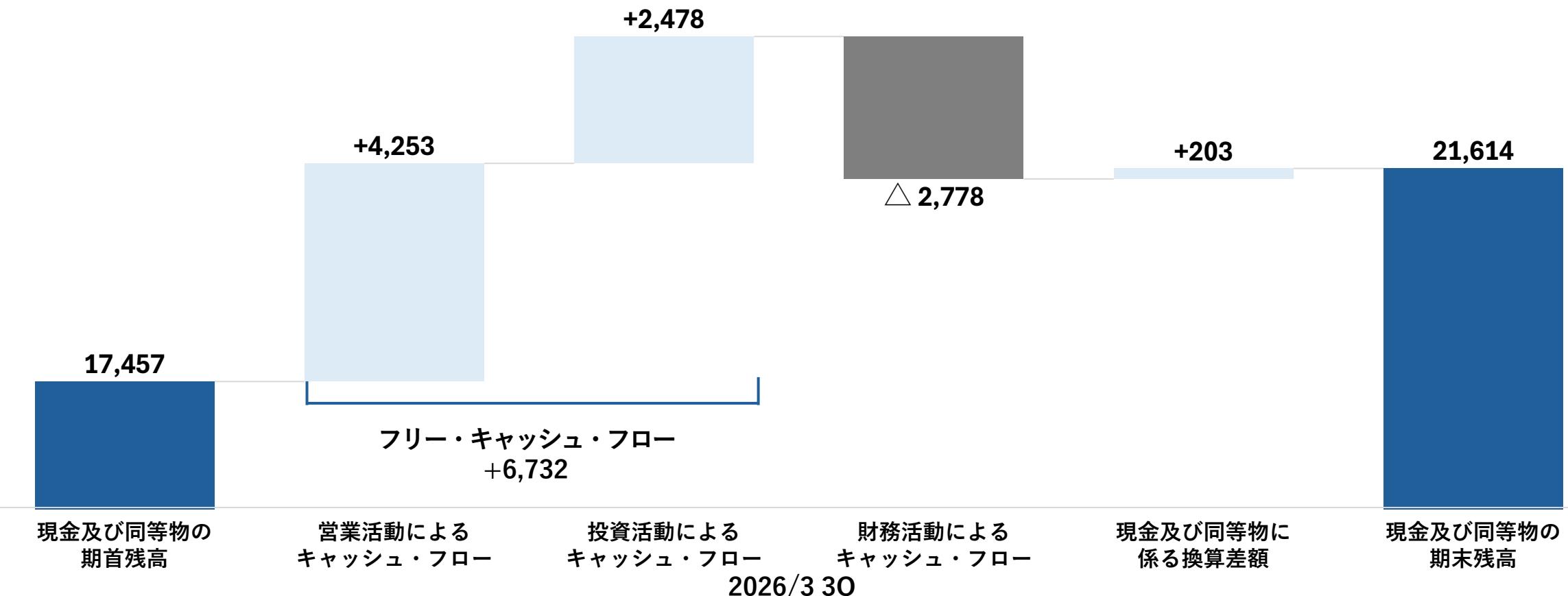
- 流動資産 + 12億55百万円：現預金・有価証券の増加
- 有形固定資産 △15億15百万円：東京本社不動産売却による減少
- 純資産 + 31億00百万円：利益剰余金の増加

単位：百万円		2025/3末	2025/9末	2025/12末	前期末比増減	単位：百万円		2025/3末	2025/9末	2025/12末	前期末比増減
流動資産	現預金・有価証券	17,497	21,665	22,408	+4,911	流動負債	買掛債務	2,201	1,365	1,104	△ 1,097
	売掛債権	6,068	4,934	5,491	△ 576		短期借入金	1,500	1,500	1,200	△ 300
	棚卸資産	17,061	14,613	13,663	△ 3,398		その他	4,366	4,539	4,181	△ 185
	その他	838	895	1,157	+318		流動負債合計	8,068	7,404	6,485	△ 1,583
	流動資産合計	41,465	42,108	42,721	+1,255		社債・長期借入	9,120	8,370	8,250	△ 870
	有形固定資産	4,080	2,466	2,565	△ 1,515		その他	165	312	373	+208
	無形固定資産	195	189	177	△ 18		固定負債合計	9,285	8,682	8,623	△ 661
	投資その他の資産	3,540	4,858	4,689	+1,148		負債合計	17,354	16,087	15,108	△ 2,245
	固定資産合計	7,816	7,514	7,431	△ 385		資本金	2,220	2,220	2,220	-
	繰延資産その他	102	91	86	△ 15		資本・利益剰余金	30,229	32,489	33,635	+3,405
繰延資産合計		102	91	86	△ 15		その他	△ 419	△ 1,082	△ 724	△ 305
資産合計		49,385	49,715	50,240	+854	純資産合計		32,031	33,627	35,131	+3,100
						負債純資産合計		49,385	49,715	50,240	+854

単位：百万円

## ■主な増減要因

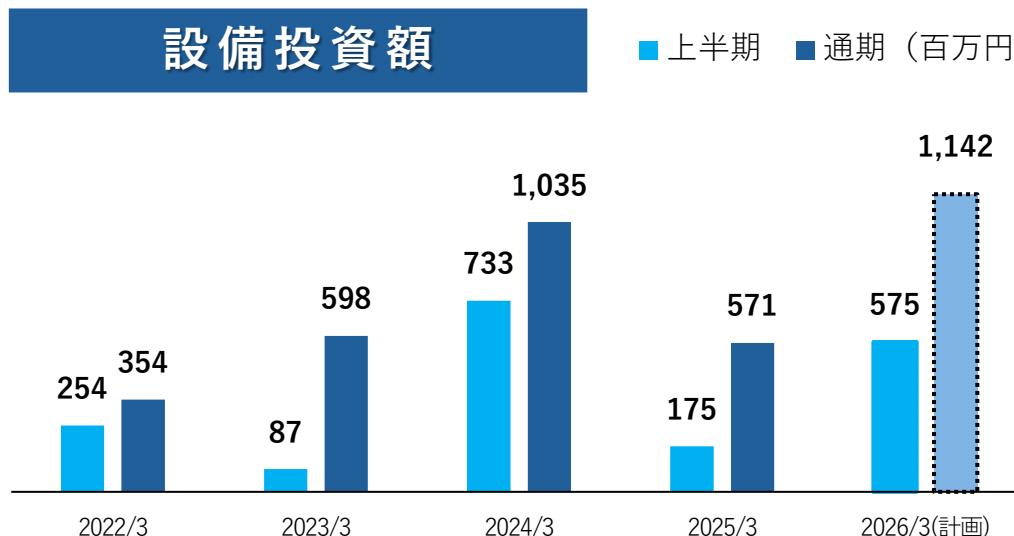
- ・営業活動CF：効率的な生産・販売活動に伴い在庫消化が進んだことにより増加
- ・投資活動CF：有形固定資産の売却により増加
- ・財務活動CF：長期借入金の返済や配当金の支払い等により支出



# 参考資料-設備投資額・減価償却費・研究開発費

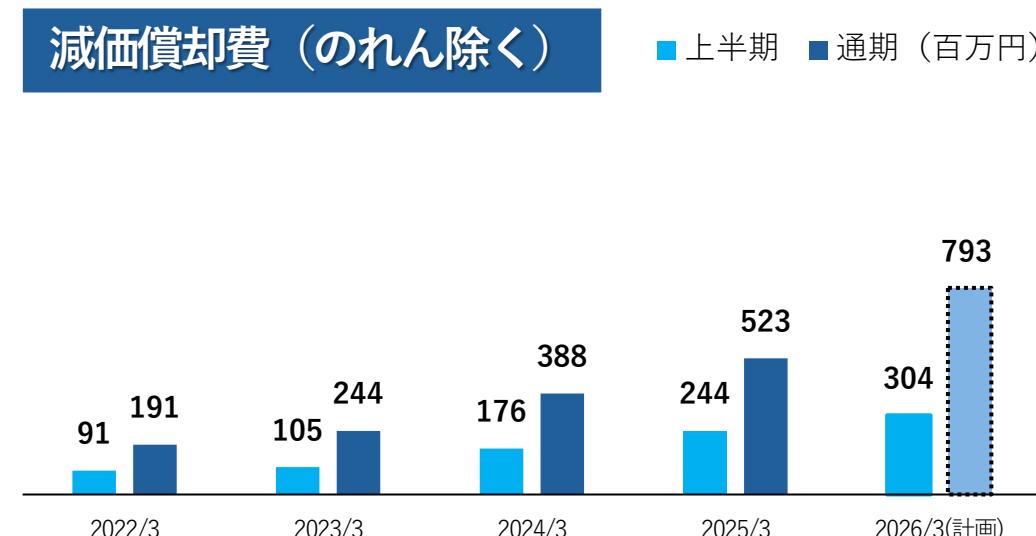
## 設備投資額

■ 上半期 ■ 通期（百万円）



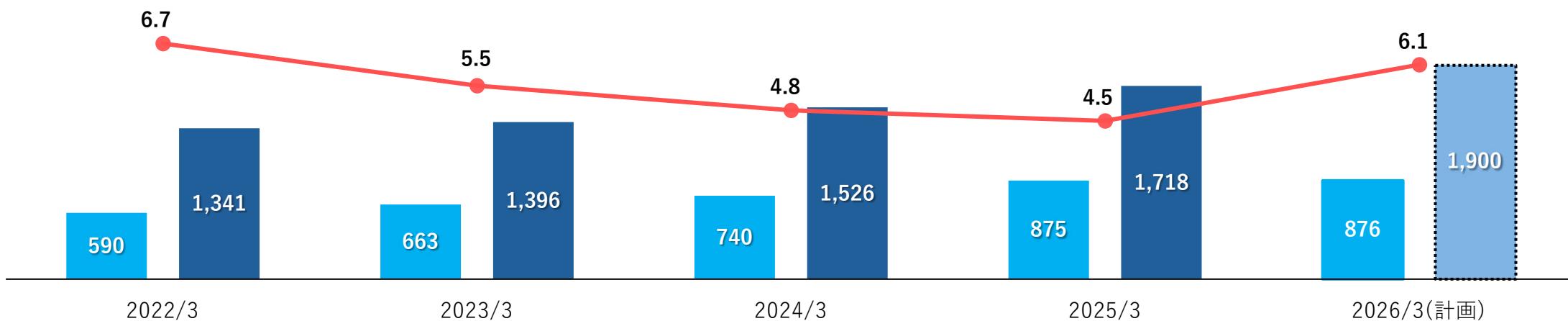
## 減価償却費（のれん除く）

■ 上半期 ■ 通期（百万円）



## 研究開発費・対売上高比率

■ 上半期 ■ 通期（百万円） ● 対売上高比率（%）



■ 為替感応度：円安は業績プラス要因

1円変動による影響額（通期：百万円）		2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2025/12
期中平均レート	米ドル	110.37円	132.08円	141.20円	152.28円	147.80円
	ユーロ	130.37円	138.58円	153.20円	164.45円	165.63円
売上高	米ドル	87	91	99	149	116
	ユーロ	35	48	59	65	35
営業利益	米ドル	30	11	14	37	35
	ユーロ	5	3	3	6	3
期末日レート	米ドル	122.41円	133.54円	151.42円	149.53円	156.53円
	ユーロ	136.85円	145.76円	163.38円	162.09円	184.31円
営業外損益	米ドル	42	40	33	37	51
	ユーロ	4	4	5	4	6

## グローバルゲーミング



## 海外コマーシャル



## 国内コマーシャル



## 遊技場向機器



## グローバルゲーミング

### ■世界のゲーミング市場における高いブランド力

JCMグループは、米国、欧州をはじめとした世界のゲーミング市場において、ゲーミング関連機器等の販売と各種サービスを提供しており、現在、北米で約190を超えるゲーミングライセンスを取得し、世界のゲーミング市場における実績とノウハウを保有する数少ない日本企業であります。

- カジノホテル向けスロットマシンのメーカーをはじめ、周辺設備機器、システムソリューションやサービスなど、幅広いジャンルの関連企業が集まるゲーミングショーに毎年出展し、新製品や当社の最新技術を紹介しております。

本年は、当社製品「ICB ASAP®」が「Best Productivity-Enhancement Technology」部門で第1位を獲得いたしました。



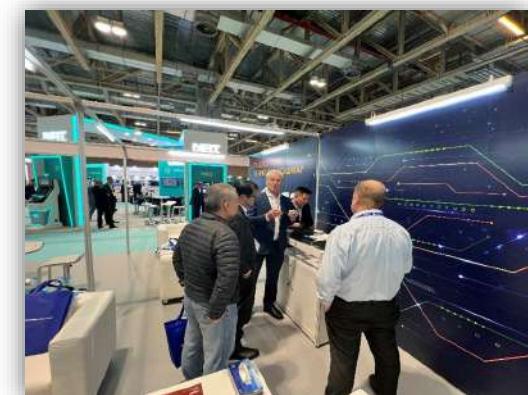
米国最大のゲーミングショー  
Global Gaming Expo  
ラスベガス



カジノホテル  
現金回収業務自動化システム  
「ICB ASAP®」



欧洲最大のゲーミングショー  
International Casino Exhibition  
バルセロナ



アジア最大のゲーミングショー  
Global Gaming Expo ASIA  
マカオ

## 海外コマーシャル

### ■ コマーシャル市場の開拓

JCMグループは、北米及び中南米地域のコマーシャル市場の開拓、当社製品の販売拡大を目的として、コマーシャル事業に特化した販売子会社を設立し、コマーシャル事業をゲーミング事業に次ぐ主力事業とすべく、積極的な販売提案活動に注力しております。

■ 海外コマーシャル市場におけるシェア拡大に向けて、世界各地の金融・流通向け市場の展示会に出展し、新製品を含め多数の当社製品を紹介や、協力企業との共同出展により更なる販路拡大に努めております。



欧州最大の流通業界向け展示会  
Euro CIS  
ドイツ



北米最大の金融・流通業界向け展示会  
National Retail Federation  
ニューヨーク



NACS Show  
ラスベガス



FEBRABAN TECH  
ブラジル

## ■環境



気候関連のリスク及び機会に関する当社グループの指標と目標は、Scope 1、Scope 2について、2030年度までに温室効果ガス排出量51%削減（2018年度比）を目指します。

### 温室効果ガス排出量実績及び目標

（単位：t-CO<sub>2</sub>e）

2030年度 目標	2018年度 実績比	削減に向けた対応	2024年度 実績 (参考)
642	△51.0%	①省エネルギー設備の導入継続 ②社用車の完全エコカー化 (ハイブリッド車、電気自動車等) ③国内外各拠点の 再生可能エネルギー電力への転換 ④国内外各拠点における段階的な 環境価値証書の活用	996

## ■人的資本



当社グループの人的資本に対する基本方針は、従業員は「お互いを尊重し合い、個性を発揮しながら仕事を通じて人として成長し続けること」、会社は「人が成長し続ける機会を、仕事を通じて提供していくこと」で、従業員一人ひとりが家庭と職場に良い影響を与え、それらが集結することで継続的に価値を創造し続ける企業であり続けることが出来ると考えております。

今後、より一層事業のグローバル化を進めていく中、人事戦略の世界基準となっている「ダイバーシティの拡充」、「中核人材の育成」、「多様な働き方の実現」を当社の人材戦略の中心とし、その取り組みを推進してまいります。

当社グループではサステナビリティ推進にあたり、前述のとおり人的資本を重要視しており、上記各方針の実現に向けて、次の指標を用いており、当該指標に基づく目標及び実績は以下のとおりです。

指標	対象範囲	目標	実績 (2025年3月期)
採用に占める 女性比率	単体	30%以上	52.8%
正社員に占める 女性従業員比率	単体	2032年までに20%	18.2%

当社のサステナビリティの取り組みについては統合報告書にまとめておりますので、下記の当社ウェブサイトをご参照ください。

統合報告書 [https://www.jcm-hq.co.jp/ja/ir/library/r\\_annual.html](https://www.jcm-hq.co.jp/ja/ir/library/r_annual.html)

日本金銭機械株式会社（日本語）

<https://www.jcm-hq.co.jp>

JCM Global (English)

<https://jcmglobal.com>



過去の決算説明資料は、ホームページ(日本語)でもご覧いただけます。

「投資家情報」 → 「IRライブラリー」 → 「決算説明補足資料」

お問合せ先： 経営企画本部 広報・IR担当 06-6643-8400(代)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいりますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行わないようお願いいたします。